

ご挨拶

WJCI理事長 黒川次郎

我が国社会の国際化の度合いを示す数字として外国人登録者数を上げることができるでしょう。2005年12月末現在でおよそ210万人だそうです。15年前の2.37倍です。もう一つ国際化のバロメーターとして国際結婚をあげてみましょう。現在、年間件数5.5%が国際結婚だといわれています。

外国人が増えれば、犯罪が増える、ごみ出し等を巡る地域のトラブルも増えると感じる人が多いと思います。他方、日本の代表的な輸出製品である車やオートバイも外国人労働力のお陰だとメディアは報じています。

私どもは、いろいろな目的で日本にやって来る外国の方々に、帰国するときには親日派になって帰っていただきたいと思ひますし、帰国後は日本で学んだ、あるいは身に付けた知識、技術、日本語力を母国の産業発展のために役立てて欲しいと願っています。また、日本の方々には働いてくれた外国人に感謝の念を抱くと共に、彼らの国に行った時には、再開を喜び合えるような関係を作って欲しいと思ひます。

私どもは、2005年3月まで15年にわたって(財)NHK放送研修センターが実施していた「日本語教師養成セミナー」(1年間の夜間通学制)で学んできた修了生たちと共に、日本語・日本文化・異文化コミュニケーション教育、外国人児童・生徒への学習支援、日本人児童・生徒への異文化対処能力の育成、一般市民へのコミュニケーション教育などを通して、多文化共生社会の実現に寄与して参りたいと願っています。

ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

WJCI設立の趣旨

日本社会は今、人口減少時代に入りました。経済・社会のグローバル化がますます進んでいますから必然的に今後、企業活動ばかりでなく、自治体、学校、個人の生活領域に至るまで、外国人の存在と参加を前提とする運営がもとめられる「共生社会」の時代に入っていくでしょう。

外国人の受け入れにはプラス面とマイナス面があります。凶悪犯罪の増加からアパートのゴミ出しをめぐるトラブルまで、様々な問題があることを多くの日本人は経験として知っています。今後も外国人が増え続ければ、更に多くの問題が発生することが心配されています。そうしたトラブルや問題の多くは、外国人に、日本語コミュニケーション能力がないこと、日本の文化や生活習慣が分からないこと、日本人が外国人の身になって考えることに慣れていないことなどから起こっていると思われます。

当研究所は当初、任意団体として発足し、主として日本語教師養成関連事業を行っていましたが、今後の社会動向に目を向けた時、活動領域を①外国人に対する日本語教育、②外国人児童・生徒に対する学習支援、及び③日本人の国際理解・異文化対応能力向上を図る活動へと転換する必要性が求められていることを痛感しました。

そこで、こうした社会や時代の要請に応えるべく、NPO法人化への道を選ぶことにしました。幸い、平成18年1月に「特定非営利活動法人国際日本語コミュニケーション研究所」として再出発することになりました。皆さまの温かいご支援をいただきながら、社会的使命を順次果たして参りたいと決意を新たにしています。

WJCI

(World Japanese Communications Institute)

特定非営利活動法人(NPO)

国際日本語コミュニケーション研究所

研究所案内

特定非営利活動法人
国際日本語コミュニケーション研究所

〒151-8521

東京都渋谷区代々木3-22-1
(学)文化学園 文化外国語専門学校
第2研究室内

Tel:03-5333-6385

Fax:03-5333-6386

e-mail:wjci@nifty.com

URL:www.wjci-nihongo.org